

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第43号

ななえ古写真物語

VOL. 43

銅像のはなし

～戦捷記念銅像建設会人名表～

明治39年

大沼

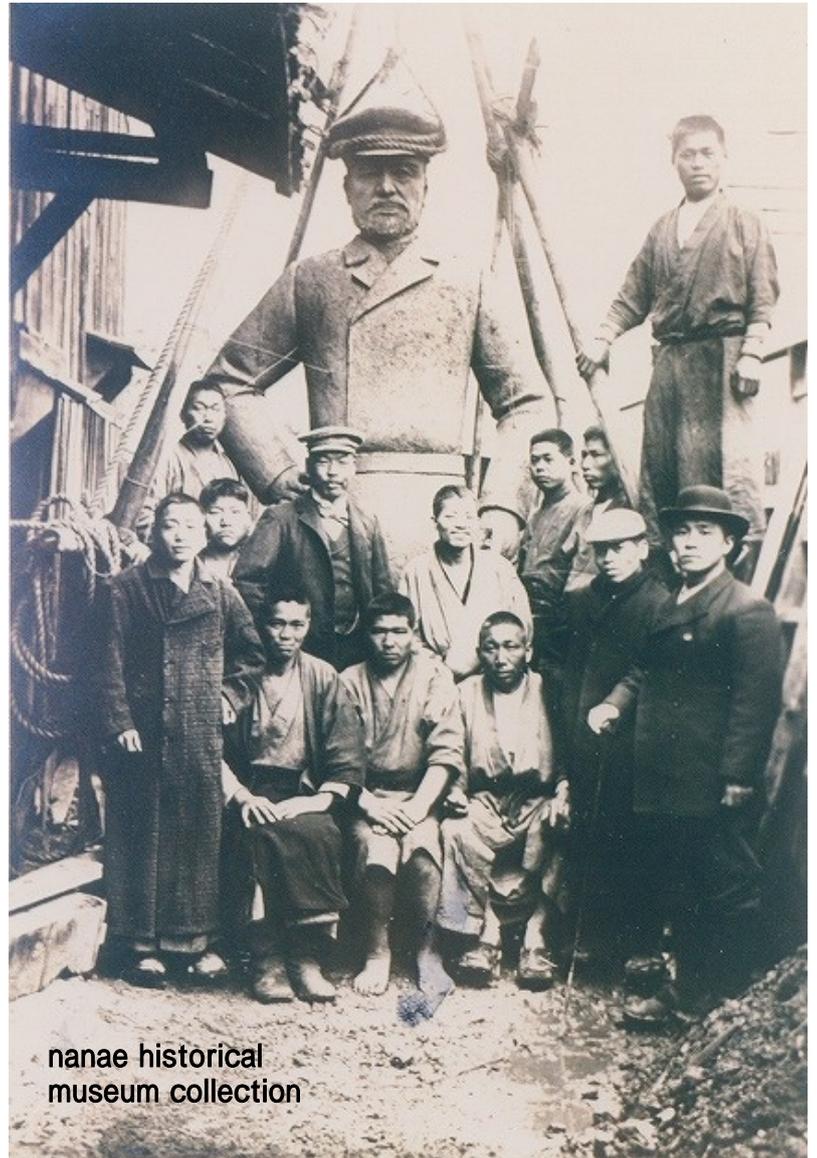
大沼の島々を歩きながら巡るのも、趣があって良いのですが、散策路を少しはずれ、流山地形と思われる小山に足を伸ばしてみると、忘れかけていた大沼の歴史を垣間見ることがあります。

公園前広場から後楽橋を渡ると、小山に続く石段が幾つか設けられているのですが、その一つを登ると「戦捷（削られて判読できなくなっている）記念銅像建設会人名表」と刻まれた石碑が今でも残されています。どの位の人がこの石碑のことを知っているか判りませんが、さらに石碑の前には、明治39年に露戦争で功績のあった大山巖元帥の銅像（写真中央が）建立されていたのです。

この時、大山元帥のほか、東郷平八郎元帥の銅像と、戦没者を弔う忠魂碑が建立され、それに携わった有志103名と9つの団体名が彫られたのが「戦捷記念銅像建設会人名表」になります。

残念なことに銅像は太平洋戦争の金属供出の為、見ることが出来ませんが、忠魂碑とこの石碑は今も見ることができます。

ちなみに、据付作業中に撮影されたこの銅像の高さは約3m、重量862kgもあったといわれ、写真は個人が研究の為に収集し、その成果を一括して当館へ寄贈して下さったものです。貴重な資料の提供をこの場を借り、改めてお礼申し上げます。



ところで、これらの銅像や石碑を建立する為、発起人として奮起したのが、今はない紅葉館という旅館の主「宮川勇」。写真右端でステッキをもった人物です。

彼は、大沼の景観に惚れ込んで旅館を建て、その後も大沼公園の発展の為に尽力した一人でもあります。当時の大沼の発展は、彼のような情熱にあふれた人達が多くいたからこそ為し得たのでしょう。

震災直後、大沼を歩きながら、ふとそんな事を思い出し、その歴史を伝えたいと願い筆を走らせた一枚の紹介でした。



1日

夜の博物館が開講しました。第1回は「ななえの成り立ちと遺跡」と題して、駒ヶ岳噴火から出来た流山地形や、大沼湖沼群などの説明と、遺跡の発掘から古環境を推測した解説が学芸員から話されました。また、地層の模型や火山岩が登場し、より身近に、ななえの成り立ちを感じてもらえたかと思います。



11日

北海道立文書館との共催で、古文書教室を文化センターで開催しました。午前中は北海道立文書館職員による、[はじめての古文書講座]。基礎知識を学んだ後、実際に文書を読み解きました。午後からは当館前館長、長川清悦氏が[七重官園]について解説し、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。



19日

ななえの史跡を歩こうが行われました。バスで藤城地蔵堂、昭和寺、大沼神社、軍川神社、藤城神社を巡りました。最初に訪れた藤城地蔵堂では、地元の方が、色々説明してくれました。その後、3つの神社の狛犬を見比べたのですが、それぞれに個性や特徴があって面白い!「狛犬はどこも同じだと思っていたけど、こんなにも違うんですね...!」と、皆さん驚いていました。今度神社に行ったら、思わず狛犬に注目してしまうことでしょう...



25日

6月のジュニア探検クラブでは、土偶作りに挑戦しました。まず、日本各地で発掘された様々な顔・形の土偶のスライドを見ながら、どんな土偶を作るかイメージ作り。完成図を描いたら、粘土から土偶を作り上げていきます。粘土が乾燥してしまい、胴体に手足がうまくつかずに苦労していたり、いつの間にか、全く違う物が出来上がっていたり...。世界にひとつのオリジナル土偶が出来上がりました。後は焼くだけ!完成をお楽しみに。



8月の予定

1	月
2	火
3	水 夜の博物館
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水 ジュニア探検クラブ [大沼をきわめる1]
11	木 ジュニア探検クラブ [大沼をきわめる2]
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土 ふあみりーでいみゆーじあむ
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

8月の休館日はありません。

テーマ展・ロビー展準備中です。

ただいま展示の準備中です。テーマ展では、水をテーマに水辺の生き物も展示します。ロビー展は国産、外国産クワガタを展示します。見た事のない生き物に会えるかも?! (A)



何の幼虫でしょう?

編集後記 ~tawagoto~

今年は、訳あって横津岳に登る機会が多い。登山家からすればたいした数字ではないのだろうが、年に2回も登れば多いと思う私にとっては、2桁という登山回数は考えられない数字である。

一方で、初めて見る動植物の種類も増え、シマリスとキテン(おそらく)を目撃!その日は雲海も見れて「なんて素晴らしい一日だ!」と予期せぬ出会いを喜んだが、調子に乗りすぎて、ヒグマにまで出会わぬよう気をつけないと...。(やまだひさし)

Richard

~ピチャリ~

第43号

平成23年7月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp